

単元名 ギコギコ トントン クリエイター(工作)

配当時間 6時間

単元の目標 (1) 用具を安全に使い、木の形や色の感じの造形的なよさを生かして、工夫してつくることができる。  
 (2) 木や板を切って組み合わせてできる形から、生活で使える物をイメージし、つくりたいものをつくるとともに、自分と友達の作品を見て、表し方のよさや面白さなど表現の工夫をとらえることができる。  
 (3) 木を切ったり、組み合わせたりすることで、生活に使えるものをつくることを楽しもうとする

## 標準的な展開

04080205\_001

【準備等】木切れ、板材、のこぎり、金づち、釘、クランプ、万力、木工用接着剤、水彩用具一式など

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 のこぎりの安全な使い方を学び、正しく使って木を切る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教科書の作品を見て、学習課題をつかむ。</li> <li>★木切れや板をのこぎりで切って、組み合わせたりくぎでつないだりして、生活で使える物をつくろう</li> <li>○のこぎりの安全な使い方を知る。</li> <li>○グループになって、順番に木を切る。</li> </ul> <p>2～5 切った木を組み合わせて、つくりたいものを考え、つくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○つくりたいものを考え、アイデアスケッチをかく。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝言メモ</li> <li>・カレンダー</li> <li>・写真立て</li> </ul> </li> <li>○必要な、材料をのこぎりで切る。(前時までに切った木で足りない分や追加する分を切るようにする。)</li> <li>○材料を着色する。</li> <li>○金づちと釘を使って材料を組み合わせ、作品を完成させる。</li> </ul> <p>6 作品を鑑賞し、よいところを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○作品カードに記入する。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・工夫したところ</li> <li>・見てほしいところ</li> </ul> </li> <li>○友達の作品を鑑賞し、よいところを話し合う。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・細かく切った木をつなげてラクダに見たてている所が面白い。</li> <li>・細かい形を組み合わせて、1つの形らしく見えるようにしている所がいい。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書3・4下 P.18, 19</li> <li>・事前に材料を十分に集めておく。</li> <li>・教科書P.60, 61の「のこぎりで木を切ろう」を見ながら安全な使い方を指導する。</li> <li>・児童一人一人が、木を切ることができる時間を十分にとる。</li> <li>【評】のこぎりの安全な使い方を知り、学んだ知識を基に木を切る活動を通して、「知識・技能」を評価する。</li> <li>【評】切った木を組み合わせたたり、つないだりして、自分の生活を楽しく豊かにするもの思い付き、どのようにするか考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・のこぎりで木を切るときは、木をしっかり押さえる。押さえにくい場合はクランプや万力を使用する。</li> <li>・材料を彩色する場合は、この段階で水彩絵の具を使って着色する。</li> <li>・絵の具の発色がよくなるように、水を少なめにするとよい。</li> <li>・金づちの使い方については前学年で学習しているが、安全面について再度指導するとよい。</li> <li>・道具の片付け方を指導する。</li> <li>【評】形や色の感じを見付け、工夫してつくる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</li> <li>・友達と作品を見せ合い、いろいろな表し方、木のつなぎ方による感じの違いなどを話し合わせる。</li> <li>【評】自分や友達の作品のよさや面白さを見付け、話し合う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>【評】作品やこれまでの学習活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> </ul>

【 備 考 】